

**令和 3 年度  
地域運動部活動推進事業  
成果報告書**

岩手県教育委員会

# 目 次

1	休日の部活動の地域移行に関する実践研究について	1
2	岩手県の基礎情報	
	(1) 人口、面積、市町村数	1
	(2) 中学校数及び生徒数	1
3	岩手県における中学生の部活動について	1
4	実践研究にける拠点地域の決定について	2
5	実践研究拠点地域等の基礎情報	
	(1) 実践研究拠点地域の基礎情報	2
	(2) 実践研究拠点校の基礎情報	2
6	休日の地域部活動の運営主体となる地域団体について	2
7	「岩手県地域部活動検討・運営会議」の設置について	
	(1) 「岩手県地域部活動検討・運営会議」設置日	2
	(2) 組織	3
	(3) 実践研究地域ごとの構成員（委員）	3
8	実践研究実施方針の決定について	
	(1) 「岩手県地域部活動検討・運営会議」第1回会議	4
	(2) 「岩手県地域部活動検討・運営会議」第1回会議の書面決議結果	6
9	休日の地域部活動の実践について	
	(1) 休日の地域部活動実践までの経過	6
	(2) 実践開始時期	6
	(3) 休日の地域部活動の実践状況	7
10	県教育委員会の取り組みについて	
	(1) 「岩手県地域部活動検討・運営会議」の開催	10
	(2) 地域指導者向け研修会の実施	11
	(3) アンケート調査の実施	12
	(4) 「岩手県中学生スポーツ・文化活動セミナー」での実践発表	12
11	生徒・保護者向けアンケート調査の実施について	
	(1) 岩手町（ホッケー競技）	14
	(2) 葛巻町（バスケットボール、野球、サッカー、柔道、ソフトテニス）	16
12	研究の成果等	
	(1) 岩手町	19
	(2) 葛巻町	22
	(3) 岩手県	25

## 1 休日の部活動の地域移行に関する実践研究について

令和3年度地域運動部活動推進事業について、本県の中学校における部活動の「望ましい活動・環境の姿」の実現に向けた取組の一つとして、地域部活動の運営主体となる地域団体を「町教育委員会」とした、休日の地域部活動の実践研究を行い、成果、課題等の整理等を行い、本県における休日の部活動の段階的な地域移行の推進を目的とし実施したものの。

## 2 岩手県の基礎情報

### (1) 人口、面積、市町村数

	人口	面積	市町村数	備考
岩手県	1,196,277人	15,275.01km <sup>2</sup>	33市町村	面積は日本面積の4%

※ 人口は、令和3年10月1日現在、面積は、令和2年10月1日現在

### (2) 中学校数及び生徒数

	校数	生徒数	備考
市町村立中学校	149校	29,386人	本校147校、分校2校
義務教育学校	1校	216人	7・8・9年生
県立中学校	1校	220人	
計	151校	29,822人	

※ 生徒数、教職員数：令和3年5月1日現在

## 3 岩手県における中学生の部活動について

本県における部活動は、これまで地域の実情に合わせた形で実施されており、中学生の人格形成に大きな影響を与えている。しかし、生徒数の減少等により、学校単位での部活動運営が困難な状況にあることや、学校外のスポーツ・文化活動に取り組む中学生が見られるなど活動が多様化しており、学校の部活動だけで中学生のニーズに応えることが困難な状況にある。

このような状況を踏まえ、本県においては、「中学生スポーツ・文化活動に係る研究」有識者会議（以下、「有識者会議」という。）を設置し、生徒の多様な学びの場である部活動の教育的意義を認識しつつ、中学生本位の有意義なスポーツ・文化活動の在り方の方向性を整理することを目的として検討を行ってきた。有識者会議では、文部科学省の「働き方改革を踏まえた部活動改革」の動きも見据えながら、「望ましい活動・環境の姿」の実現に向け、中学生のスポーツ・文化活動を支える各主体（市町村・市町村教育委員会、学校、関係団体、指導者）に求められる役割・取組を提言としてまとめた。

今後は、提言を踏まえ、中学生の活動を支える各主体が、共に中学生の健全な成長のためのパートナーという考えに立ち「望ましい活動・環境の姿」の実現に向けて取り組み、いわての中学生それぞれの興味、関心に応じた多様な活動を保障していくもの。

#### 4 実践研究における拠点地域の決定について

令和3年度の実践研究においては、休日の地域部活動の運営主体となる地域団体を「市町村教育委員会」とするものとして、県内全市町村教育委員会に対し公募を実施し、「岩手町」、「葛巻町」の2町から実践研究を希望する旨の意思が示されたもの。

#### 5 実践研究拠点地域等の基礎情報

##### (1) 実践研究拠点地域の基礎情報

拠点地域	人口	面積	中学校
岩手町	11,921人	360.46km <sup>2</sup>	町立中学校：3校 (沼宮内中学校、川口中学校、一方井中学校)
葛巻町	5,495人	434.96km <sup>2</sup>	町立中学校：3校 (葛巻中学校、小屋瀬中学校、江刈中学校)

※ 人口は、令和3年10月1日現在、面積は、令和2年10月1日現在

##### (2) 実践研究拠点校の基礎情報

拠点地域	拠点校	生徒数	教職員数	設置部活動数
岩手町	沼宮内中学校	153人	24人	12部
	川口中学校	74人	13人	9部
	一方井中学校	37人	10人	7部
葛巻町	葛巻中学校	54人	13人	7部
	小屋瀬中学校	13人	9人	3部
	江刈中学校	26人	11人	4部

※ 生徒数、教職員数：令和3年5月1日現在

※ 設置部活動数：令和3年度の状況（男子、女子それぞれ1部としたもの）（特設含む）

#### 6 休日の地域部活動の運営主体となる地域団体について

##### ◆ 地域団体、運営体制等

	岩手町	葛巻町
地域団体	岩手町教育委員会	葛巻町教育委員会
運営体制	学校教育課 ・指導者、活動場所の確保、諸謝金等 支払業務、学校との連絡調整等	こども教育課 ・指導者、活動場所の確保、諸謝金等 支払業務、学校との連絡調整等

#### 7 「岩手県地域部活動検討・運営会議」の設置について

県教育委員会は、休日の部活動の段階的な地域移行に向けた実践研究の方針、検証、普及方法等について協議するため、実践研究地域ごとに「岩手県地域部活動検討・運営会議」を設置。

##### (1) 「岩手県地域部活動検討・運営会議」設置日

令和3年8月5日

## (2) 組織

検討・運営会議は、次に掲げる各団体の関係者等の中から県教育委員会事務局保健体育課総括課長が構成員として委嘱した者をもって組織する。

①市町村教育委員会、②市町村スポーツ所管部局、③実践研究校の校長、④実践研究校のPTA会長、⑤地域指導者、⑥市町村体育（スポーツ）協会、⑦総合型地域スポーツクラブ、⑧岩手県中学校体育連盟、⑨岩手県文化スポーツ部スポーツ振興課、⑩岩手県教育委員会事務局保健体育課

## (3) 実践研究地域ごとの構成員（委員）

委員	岩手町	葛巻町
町教育委員会	教育長、・学校教育課（課長）、社会教育課（課長）	教育長、教育次長、こども教育課（室長、指導主事、主事）、まなび交流課（室長）
実践研究校校長	沼宮内中学校校長、川口中学校校長、一方井中学校校長	葛巻中学校校長、小屋瀬中学校校長、江刈中学校校長
実践研究校PTA	沼宮内中学校PTA会長、川口中学校PTA会長、一方井中学校PTA会長	葛巻中学校PTA会長、小屋瀬中学校PTA会長、江刈中学校PTA会長
地域指導者	指導者（4名）	指導者（3名）
体育（スポーツ）協会	事務局長	会長、事務局長
関係団体	県ホッケー協会事務局長 ※町教育委員会社会教育課課長	町スポーツ推進委員協議会会長、町野球協会会長、町バスケットボール協会会長、町サッカー協会会長、町バレーボール協会会長、町柔道協会理事長
県中体連	会長	会長
県文化スポーツ部	スポーツ振興課（総括課長、主査スポーツ振興専門員）	スポーツ振興課（総括課長、主査スポーツ振興専門員）
県教育委員会	保健体育課（総括課長）	保健体育課（総括課長）
計	18名	25名

※ 葛巻町の地域指導者、スポーツ協会会長、町バスケットボール協会会長は同一人物であること。

## 8 実践研究実施方針の決定について

「岩手県地域部活動検討・運営会議」第1回会議において、令和3年度地域運動部活動推進実践研究事業の実施方針について協議し、委員から「承認」されたことにより、方針を決定したものの。

(1) 「岩手県地域部活動検討・運営会議」第1回会議

① 開催日時：書面会議として開催（岩手町、葛巻町）

（新型コロナウイルス感染症による県の緊急事態宣言が発令されたことに伴う対応）

② 協議事項（岩手町、葛巻町）

・ 令和3年度地域運動部活動推進実践研究事業費実施方針について

③ 実施方針（案）内容

	岩手町	葛巻町					
概要	<p>休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、地域の特色に応じた地域部活動の仕組みの構築の推進するために実践研究を実施し、地域団体の責任の下で行われる活動の成果、課題を整理するとともに、地域団体が担っていくこととなる業務、活動経費、指導者の確保など、地域移行へ向けた体制の構築に取り組むもの。</p>						
目的	<p>町技として普及させている「ホッケー競技」について、複数校での合同部活動ができる環境の整備を目指すもの。</p>	<p>中高一貫の町であることから、高校進学後の部活動を見据えながら、複数校での合同部活動ができる環境の整備を目指すもの。</p>					
事業内容	<p>(1) 地域団体による地域運動部活動の実践</p> <table border="1"> <tr> <td> <p>◆地域団体：岩手町教育委員会 ◆実践期間：令和3年8月から 令和4年1月まで ◆実践校：町内3中学校 ◆対象部：ホッケー部 ◆会場：地域団体が別に定める ◆参加対象：実践校に在籍する生徒</p> </td> <td> <p>◆地域団体：葛巻町教育委員会 ◆実践期間：令和3年8月から 令和4年1月まで ◆実践校：町内3中学校 ◆対象部：地域団体が別に定める ◆会場：地域団体が別に定める ◆参加対象：実践校に在籍する生徒</p> </td> </tr> </table> <p>(2) 地域運動部活動に関する研究</p> <p>① 地域団体が担っていくこととなる業務の整理</p> <table border="1"> <tr> <td> <p>・地域指導者との連絡調整及び謝金等支払方法、・地域指導者確保、・活動場所の確保、・実践校との連絡調整、・平日の部活動と休日の部活動の指導に関する調整、・合同部活動実践の場合の活動方針等、その他</p> </td> </tr> </table> <p>② 運営経費等の把握</p> <table border="1"> <tr> <td> <p>・活動に要する経費、・参加費、学校管理下における部活動に係る経費の状況</p> </td> </tr> </table> <p>③ その他</p> <table border="1"> <tr> <td> <p>・合同練習等における生徒の移動手段 ・葛巻高校との連携（葛巻町のみ）</p> </td> </tr> </table>		<p>◆地域団体：岩手町教育委員会 ◆実践期間：令和3年8月から 令和4年1月まで ◆実践校：町内3中学校 ◆対象部：ホッケー部 ◆会場：地域団体が別に定める ◆参加対象：実践校に在籍する生徒</p>	<p>◆地域団体：葛巻町教育委員会 ◆実践期間：令和3年8月から 令和4年1月まで ◆実践校：町内3中学校 ◆対象部：地域団体が別に定める ◆会場：地域団体が別に定める ◆参加対象：実践校に在籍する生徒</p>	<p>・地域指導者との連絡調整及び謝金等支払方法、・地域指導者確保、・活動場所の確保、・実践校との連絡調整、・平日の部活動と休日の部活動の指導に関する調整、・合同部活動実践の場合の活動方針等、その他</p>	<p>・活動に要する経費、・参加費、学校管理下における部活動に係る経費の状況</p>	<p>・合同練習等における生徒の移動手段 ・葛巻高校との連携（葛巻町のみ）</p>
<p>◆地域団体：岩手町教育委員会 ◆実践期間：令和3年8月から 令和4年1月まで ◆実践校：町内3中学校 ◆対象部：ホッケー部 ◆会場：地域団体が別に定める ◆参加対象：実践校に在籍する生徒</p>	<p>◆地域団体：葛巻町教育委員会 ◆実践期間：令和3年8月から 令和4年1月まで ◆実践校：町内3中学校 ◆対象部：地域団体が別に定める ◆会場：地域団体が別に定める ◆参加対象：実践校に在籍する生徒</p>						
<p>・地域指導者との連絡調整及び謝金等支払方法、・地域指導者確保、・活動場所の確保、・実践校との連絡調整、・平日の部活動と休日の部活動の指導に関する調整、・合同部活動実践の場合の活動方針等、その他</p>							
<p>・活動に要する経費、・参加費、学校管理下における部活動に係る経費の状況</p>							
<p>・合同練習等における生徒の移動手段 ・葛巻高校との連携（葛巻町のみ）</p>							

経 費	諸謝金（地域指導者）、旅費（地域指導者交通費）、傷害保険料、通信運搬費（アンケート調査郵送料）
事業実施	(1) 指導者の任用 (2) 事業実施 ・事業計画書のとおり (3) その他 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">           ・各種会議、研修会、・運営団体マニュアル（仮称）作成への協力、            ・地域人材の確保等に関する仕組みの構築の取組への協力         </div>

◆ 事業実施計画書（事業内容）

実施時期	事業計画	内 容	備 考	
～7月	関係者等打合せ	方針の確認等	県主催	
	地域団体と実践校における実施準備	指導者の確保等		
8月	第1回運営検討会議	方針の確認等	県主催	
	保護者説明（書面）	地域運動部活動の実践について		
	教員、生徒への説明	地域運動部活動の実践について		
	地域団体と実践校における実施準備	指導内容の調整（平日・休日）		
		合同部活動の場合の活動方針		
		傷害保険への加入		
	地域部活動実践開始	8月～1月		
課題研究開始	地域団体が担う業務の整理、活動経費等			
9月	指導者向け研修会①	コンプライアンス、教師の兼職兼業等		
10月	指導者向け研修会②	内容未定	県主催	
	第2回運営会議	地域運動部活動の実践に係る中間報告、情報共有	県主催	
		費用負担に係る保護者等向けアンケートの内容等		
	費用負担に係る保護者等向けアンケートの実施	（仮）11月末期限		
	地域部活動運営団体マニュアル（仮称）作成への協力	県教育委員会作成		
11月				
12月	保護者等向けアンケート集計	集計結果とりまとめ		
1月	地域運動部活動実践の検証等開始	地域運動部活動の実践検証、成果に関する整理		
		評価・分析等		
	第3回運営会議	実践検証、成果報告、評価・分析等の報告	県主催	
	事業完了報告書等作成開始			
2月				
3月	令和3年度事業完了			

(2) 「岩手県地域部活動検討・運営会議」第1回会議の書面決議結果

協議事項「令和3年度地域運動部活動推進実践研究事業費実施方針」については、全委員より「承認」する旨の回答であったことから、当該方針により実践研究事業を推進していくこととした。

なお、各委員からいただいた協議事項に対する意見等について、可能な限り事業に反映させていくこととした。

◆書面決議結果

	岩手町	葛巻町
承認する	18名	27名
承認しない	0名	0名

9 休日の地域部活動の実践について

(1) 休日の地域部活動実践までの経過

	岩手県	岩手町	葛巻町
各種打合せ	各町教委との打合せ	県教委との打合せ	県教委との打合せ
業務委託契約	令和3年8月31日契約締結	令和3年8月31日契約締結	令和3年8月31日契約締結
地域部活動検討・運営会議	第1回会議(書面会議)開催		
関係機関等との調整		・校長会議にて事業説明 ・関係機関に対し取組への説明、地域指導者に関する依頼を実施	・町主催の会議にて関係機関に対し取組への説明、地域指導者に関する依頼を実施
保護者、教職員等向けの事業取組に関するお知らせ	保護者等向け周知文書案の作成	・中学校顧問、指導者合同説明等(10月) ・保護者あて事業説明文書送付(10月)	・保護者あて事業説明文書送付(8月・10月) ・教職員向け事業説明(10月)
地域指導者の任用		地域指導者の任用(4名) ※うち、教師の兼職兼業の許可2名	地域指導者の任用(2名) ※実践開始当初は2名の指導者で開始
傷害保険加入事務	スポーツ安全保険の紹介	スポーツ安全保険に加入	スポーツ安全保険に加入

(2) 実践開始時期

- ① 岩手町 ⇒ 令和3年10月15日
- ② 葛巻町 ⇒ 令和3年10月6日

(3) 休日の地域部活動の実践状況

① 岩手町

部活動名	開始時期	実施回数	活動場所	実践内容等
ホッケー	R3.10.15	16回	・岩手町ホッケー場 ・岩手町体育館 ・旧水堀小学校体育館	【実践内容】 地域指導者の指導による練習 【参加生徒数】 35名

ア 地域指導者名簿

No.	部活動名	地域指導者	報酬額	交通費	学校名	指導回数(時間数)
1	ホッケー	岩井 義則	1,600円	161円	町内3校	16回(48時間)
2	ホッケー	松村 和樹	1,600円	161円	町内3校	14回(42時間)
3	ホッケー	松村 洋介	1,600円	161円	町内3校	15回(45時間)
4	ホッケー	笈口 将樹	1,600円	219円	町内3校	15回(45時間)

※ 報酬額は時間単価であり、交通費は1回あたりの指導に従事した場合の単価である。

○ 教員等の兼職兼業の状況

No.	所属所名	氏名	希望する活動名	学校での顧問部
1	沼宮内中学校	岩井 義則	ホッケー	ホッケー
2	川口中学校	松村 洋介	ホッケー	ホッケー
3	岩手町	松村 和樹	ホッケー	(町職員)

イ スポーツ安全保険の加入について

(ア) 傷害保険加入先：スポーツ安全保険（(公財)スポーツ安全協会岩手支部）

(イ) 保険期間：令和3年9月30日～令和4年3月31日午後12時まで

(ウ) 加入状況(人数)

ホッケー			備考		
1年	男子	8人	沼：6人	川：2人	一：0人
	女子	8人	沼：5人	川：3人	一：0人
2年	男子	8人	沼：2人	川：4人	一：2人
	女子	12人	沼：4人	川：2人	一：6人
3年	男子	13人	沼：3人	川：3人	一：6人
	女子	11人	沼：4人	川：3人	一：4人
生徒計	男子	29人	沼：12人	川：9人	一：8人
	女子	31人	沼：13人	川：8人	一：12人
生徒合計			沼：25人 川：17人 一：18人		
地域指導者		4人			

3年生については、休日の部活動実践後に後輩の指導のために参加してもらうことも想定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により参加を見送ったもの。

※ 備考欄の「沼」は「沼宮内中学校」、「川」は「川口中学校」、「一」は「一方井中学校」

② 葛巻町

部活動名	開始時期	実施回数	活動場所	実践内容等
ソフトテニス	R3. 12. 11	7回	葛巻中体育館	【実践内容】 ・地域指導者の指導による休日の地域部活動 【参加生徒数】 葛中9名+江中3名
バスケットボール	R3. 10. 6	2回	社会体育館	【実践内容】 ・地域指導者の指導による休日の地域部活動 【参加生徒数】 7名
サッカー	R3. 12. 11	9回	葛巻中グラウンド	【実践内容】 ・地域指導者の指導による休日の地域部活動 【参加生徒数】 11名
柔道	R3. 12. 11	4回	・小屋瀬中体育館 ・社会体育館	【実践内容】 ・地域指導者の指導による休日の地域部活動 【参加生徒数】 2名
野球	R3. 10. 6	10回	江刈中グラウンド	【実践内容】 ・地域指導者の指導による休日の地域部活動 【参加生徒数】 葛中3名+江中3名

ア 地域指導者名簿

No.	部活動名	地域指導者	報酬額	交通費	指導校	指導回数(時間数)
1	ソフトテニス	清水 貴之	970円	770円	葛巻 江刈	7回(20時間)
2	バスケットボール	近藤 豊美彦	1,040円	100円	葛巻	2回(4時間)
3	サッカー	家田 佳朗	970円	0円	葛巻	9回(21時間)
4	柔道	中村 花愛	970円	0円	小屋瀬	4回(11時間)
5	野球	谷山 貴紀	970円	100円	葛巻 江刈	10回(30時間)

※ 報酬額は時間単価であり、交通費は1回あたりの指導に従事した場合の単価である。

○ 教員等の兼職兼業の状況

No.	所属所名	氏名	希望する活動名	学校での顧問部
1	葛巻中学校	清水 貴之	ソフトテニス部	ソフトテニス部

イ スポーツ安全保険の加入について

(ア) 傷害保険加入先：スポーツ安全保険（(公財) スポーツ安全協会岩手支部）

(イ) 保険期間：令和3年10月5日～令和4年3月31日午後12時まで

(ウ) 加入状況（人数）

		ソフトテニス (※)	バスケット ボール	サッカー	柔道	野球 (※)	計
		葛巻中 江刈中	葛巻中	葛巻中	小屋瀬中	葛巻中 江刈中	
1年	男子	0	3	6	0	3	12
	女子	4	0	0	0	0	4
2年	男子	0	1	5	0	3	9
	女子	5	3	0	2	0	10
生徒計	男子	0	4	11	0	6	21
	女子	9	3	0	2	0	14
生徒合計		9	7	11	2	6	35
地域指導者		1	1	1	1	1	5

※ ソフトテニス、野球については葛巻中学校と江刈中学校が参加する活動であり、参加生徒の内訳は次のとおり。

内訳

		ソフトテニス		計	野球		計
		葛巻中	江刈中		葛巻中	江刈中	
1年	男子	0	0	0	1	2	3
	女子	4	0	4	0	0	0
2年	男子	0	0	0	2	1	3
	女子	5	0	5	0	0	0
生徒計	男子	0	0	0	3	3	6
	女子	9	0	9	0	0	0
生徒合計		9	0	9	3	3	6

## 10 県教育委員会の取り組みについて

県教育委員会において、各市町村教育委員会との各種打合せのほか、「地域部活動検討・運営会議」の設置、開催、地域指導者を対象とした研修会、令和3年度の休日の地域部活動に参加した生徒及び生徒の保護者を対象にアンケート調査等に取り組んだ。

### (1) 「岩手県地域部活動検討・運営会議」の開催

	岩手町	葛巻町
第1回	<p>日程：書面会議として開催（8月）</p> <p>■協議事項</p> <p>令和3年度地域運動部活動推進実践研究事業実施方針について</p>	<p>日程：書面会議として開催（8月）</p> <p>■協議事項</p> <p>令和3年度地域運動部活動推進実践研究事業実施方針について</p>
第2回	<p>日程：令和3年12月2日（月）</p> <p>18：30～19：30</p> <p>場所：岩手町総合開発センター 2階 研修室</p> <p>参加：委員15名（うち1名代理） 欠席3名 事務局3名（県）、町担当者1名</p> <p>■協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域運動部活動の実践に係る中間報告・情報共有について</li> <li>費用負担に係る保護者等向けアンケートの内容等について</li> <li>その他</li> </ul>	<p>日程：令和3年11月29日（月）</p> <p>18：30～19：30</p> <p>場所：葛巻町総合センター 大集会室</p> <p>参加：委員24名（うち3名代理） 欠席3名 事務局3名（県）</p> <p>■協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域運動部活動の実践に係る中間報告・情報共有について</li> <li>費用負担に係る保護者等向けアンケートの内容等について</li> <li>その他</li> </ul>
第3回	<p>日程：令和4年2月18日（金）</p> <p>18：30～20：00</p> <p>場所：岩手町役場 3階 第3会議室</p> <p>参加：委員14名（うち2名代理） 欠席4名 事務局3名（県）、町担当者1名</p> <p>■協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域運動部活動の実践に係る成果等報告について</li> <li>休日の部活動の段階的な地域移行に向けた保護者費用負担等に関するアンケート調査（生徒・保護者）の集計結果について</li> <li>その他</li> </ul>	<p>日程：令和4年2月21日（月）</p> <p>18：30～20：00</p> <p>場所：葛巻総合センター 大集会室</p> <p>参加：委員21名（うち2名代理） 欠席6名 事務局3名（県教委保健体育課）</p> <p>■協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域運動部活動の実践に係る成果等報告について</li> <li>休日の部活動の段階的な地域移行に向けた保護者費用負担等に関するアンケート調査（生徒・保護者）の集計結果について</li> <li>その他</li> </ul>

## (2) 地域指導者向け研修会の実施

### ① 趣旨

令和3年度に実施している地域部活動推進実践研究事業において、実践地域の地域部活動の運営主体である岩手町教育委員会、葛巻町教育委員会で任用された地域指導者を対象に、地域指導者としての服務規律の確保、体罰等不祥事未然防止に向けたコンプライアンス意識の徹底、適切な地域部活動の指導等について研修会を実施し、地域部活動指導における指導力の向上を図ることで、参加生徒の地域部活動に対する意欲喚起や動機付けを促すとともに、適切かつ効果的な部活動の推進を図る。

### ② 日程及び内容等

#### ア 実施日時及び会場

令和3年12月21日(火) 18:30～19:30

葛巻町総合センター 大集会室

#### イ 講師

岩手県教育委員会事務局保健体育課

主任指導主事、主査

#### ウ 研修内容

- ・ 服務規律の確保・コンプライアンス等について
- ・ 部活動指導の在り方について

### ③ 参加対象者

- ・ 岩手町教育委員会で任用されている地域指導者
- ・ 葛巻町教育委員会で採用されている地域指導者

### ④ 実績

地域指導者6名(岩手町3名、葛巻町3名)、町担当者2名(各町1名)の参加

#### ■ 参加者の感想(一部)

- ・ 確認の意味も込めて、定期的に研修を開催してほしい
- ・ 地域の人材(町の職員の一員)という立場ということで気を引き締めて指導に当たりたい
- ・ 分かっていると思っていた事でも深いところまで考えることができた
- ・ 服務規律のことについて詳しく知らなかったので勉強になった
- ・ 部活動指導の具体例について詳細な説明も聞いてみたい

### (3) アンケート調査の実施

#### ① 目的

国の「働き方改革を踏まえた部活動改革」で示された、「休日の部活動について、令和5年度以降、段階的に学校教育から切り離し、地域のスポーツ活動（地域部活動）へ移行する」ことに関し、実践拠点地域における実態等を把握することを目的として実施したもの。

#### ② アンケート調査対象者

休日の地域部活動に参加している生徒及びその保護者

- ・岩手町 35名
- ・葛巻町 35名

#### ③ 主な質問内容

##### □ 生徒

- ・ 基本情報（学校名、学年、性別、活動名、休日の活動への参加の可否）
- ・ 実践研究事業への理解に関すること
- ・ 休日の地域部活動に関すること  
（専門的な指導、活動時間、活動内容、移動手段、移動に要する時間、休日の地域部活動はどんな活動の場であってほしいか 等）

##### □ 保護者

- ・ 実践研究事業への理解に関すること
- ・ 休日の地域部活動に関すること  
（指導者、どんな活動の場であってほしいか）
- ・ 学校管理下での部活動に関すること  
（保護者費用負担の主なもの、移動手段）
- ・ 今後の休日の地域部活動に関すること  
（地域団体、参加料徴収への理解、活動場所（経費も含む）、移動手段 等）

### (4) 「岩手県中学生スポーツ・文化活動セミナー」での実践発表

#### ① 目的

令和3年3月に、岩手県「中学生スポーツ・文化活動に係る研究会」有識者から、中学生本位の有意義なスポーツ・文化活動の在り方の方向性を整理した「いわての中学生のスポーツ・文化活動のこれから（提言）」が示された。この提言では、いわての中学生それぞれの興味・関心に応じた多様なスポーツ・文化活動を保障していくために、中学生の活動を支える各主体（学校、市町村・市町村教育委員会、関係団体、指導者）が中学生の健全な成長のためのパートナーという考えに立ち、「望ましい活動・環境の姿」の実現に向けて取り組むことが期待されている。

また、文部科学省も「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」において、令和5年度以降、休日の部活動を段階的に学校教育から切り離し、地域のスポーツ活動（地

域部活動)へ移行することを示しており、本県でも実践研究を進めているところである。

このような状況を踏まえ、今後の望ましい部活動の在り方や地域移行等について共通理解を図ることを目的としてセミナーを開催するもの。

② 期日・会場

令和4年2月5日(土) サンセール盛岡 1階 大ホール

③ 参加対象者

- ・ 県内中学校の保護者
- ・ 県内総合型地域スポーツクラブ、各競技団体及び文化芸術団体の指導者
- ・ 県内各学校において部活動を指導する地域指導者
- ・ 県内中・義務教育学校、高等学校及び特別支援学校において部活動を指導する教員・部活動指導員
- ・ 各市町村教育委員会学校体育・部活動担当者

④ 内容・講師

ア 説明

「いわての中学生のスポーツ・文化活動のこれから」

岩手県「中学生スポーツ・文化活動に係る研究」有識者会議

座長 浅沼 道成 氏

イ 講演1

「持続可能な部活動の実現に向けて」

スポーツデータバンク株式会社 代表取締役 石塚 大輔 氏

ウ 講演2

「大人が変われば 子どもが変わる」～叱らず問いかける～

NPO 法人 I. K. O 市原アカデミー 理事長 池上 正 氏

エ パネルディスカッション

「いわての中学生のスポーツ・文化活動のこれから」

- ・ 岩手県「中学生スポーツ・文化活動に係る研究」有識者会議

座長 浅沼 道成 氏

- ・ スポーツデータバンク株式会社 代表取締役 石塚 大輔 氏

- ・ NPO 法人 I. K. O 市原アカデミー 理事長 池上 正 氏

- ・ 葛巻町立葛巻中学校 校長 菊地 正道 氏

- ・ 総合型地域スポーツクラブいちのへサンビレッジクラブ 西館 敦 氏

- ・ YAMAMOTO School11 山本 吉昭 氏

⑤ 実践発表

パネルディスカッションにおいて、令和3年度に実践研究を行っている、葛巻町立葛

巻中学校 菊地 正道 校長 による実践発表が行われた。(葛巻町の部活動の実情、部活動改革、地域部活動実践研究取組内容、課題等について)

## 11 生徒・保護者向けアンケート調査の実施について

県教育委員会において、令和3年度の休日の地域部活動に参加した生徒及び生徒の保護者を対象にアンケート調査を実施(2月)した。主な調査内容の結果は、次のとおり。

### (1) 岩手町(ホッケー競技)

#### ◆生徒対象アンケート

対象生徒 35名 うち、回答 33名 (回答率 94.3%) ※未回答の部分もあること。

	質問内容	回答(選択肢)	回答者数(割合)
1 休日の地域部活動への参加について			
(1)	活動場所までの主な移動手段は何ですか。	1 公共交通機関 2 保護者の送迎 3 町のバス等による送迎 4 その他	1 0名(0%) 2 31名(94%) 3 2名(6%) 4 0名(0%)
(2)	上記(1)の移動手段で、活動場所までの移動に要する時間はどれくらいですか。	1 10分未満 2 10分～19分 3 20分～29分 4 30分以上	1 10名(37%) 2 14名(52%) 3 2名(7%) 4 1名(4%)
(3)	休日の地域部活動はどんな活動の場であってほしいですか。	1 大会等で良い成績(専門的指導による技術・体力向上) 2 仲間と楽しく(レクの活動) 3 いろんな競技を体験 4 活動自体なくても良い	1 24名(73%) 2 5名(15%) 3 2名(6%) 4 2名(6%)

#### ◆保護者対象アンケート

対象生徒 35名 うち、回答 32名 (回答率 91.4%)

※未回答の部分もあること。

※兄弟がいる家庭では一方の生徒の保護者アンケートのみに回答しているもの

	質問内容	回答(選択肢)	回答者数(割合)
1 休日の地域部活動の実践研究事業に関すること			
(1)	休日の地域部活動の指導者について、教員以外ではだれが望ましいと考えますか。	1 平日の学校部活動における外部指導者 2 地域のスポーツ団体の指導者 3 保護者 4 大学生 5 その他	1 13名(42%) 2 14名(45%) 3 0名(0%) 4 2名(7%) 5 2名(6%) (岩手クラブ、県協会)

(2)	休日の地域部活動はどんな活動の場であってほしいですか。	1 大会等で良い成績（専門的指導による技術・体力向上） 2 仲間と楽しく（レクの活動） 3 いろいろな競技を体験 4 活動自体なくても良い	1 29名（91%） 2 3名（9%） 3 0名（0%） 4 0名（0%）
2 学校管理下での部活動（これまでの部活動）の実態等に関すること			
(1)	これまでの学校顧問との部活動や保護者（父母）会練習等の活動において、保護者費用負担のうち高額となっている主なものを選択してください。	1 大会参加費 2 大会、練習試合及び遠征等の移動経費 3 活動に必要な用具、ウェア等購入経費 4 保護者（父母）会費 5 その他	1 2名（6%） 2 11名（36%） 3 12名（39%） 4 4名（13%） 5 2名（6%） （高額、負担と思ったことがない）
(2)	これまでの学校顧問との休日の部活動に係る活動場所までの主な移動手段を選択してください。	1 生徒自身での移動（徒歩・自転車） 2 公共交通機関 3 保護者の送迎 4 町のバス等による送迎 5 その他	1 1名（3%） 2 0名（0%） 3 29名（91%） 4 2名（6%） 5 0名（0%）
3 地域部活動に関すること			
(1)	休日の地域部活動について、どのような運営団体がふさわしいと考えますか。中学生の活動の機会を保障し、管理責任も含め、持続可能な活動を運営できる団体として、考えられる団体を選択してください。	1 町体育協会（各スポーツ・競技団体） 2 保護者会（PTA） 3 町教育委員会 4 民間のスポーツクラブ等 5 その他 6 なし	1 18名（62%） 2 0名（0%） 3 10名（35%） 4 1名（3%） 5 0名（0%） 6 0名（0%）
(2)	これまでの学校顧問による休日の部活動と違い、休日の地域部活動については、参加費等の費用負担の発生が考えられますが、参加費徴収に関し、参加する者が経費を負担することをどの	1 費用の発生、参加者負担は理解できる 2 参加者負担は理解するが、新たに費用が発生するのは困る 3 費用の発生は理解するが、参加者負担は理解できない 4 費用の発生、参加者負担ともに理解できない	1 22名（71%） 2 5名（16%） 3 4名（13%） 4 0名（0%）

	<p>ようにお考えですか。選択してください。</p> <p>※指導者謝金、交通費、傷害保険料の負担を求めた場合の試算を行い、参加費を年間 15,000 円程度、1 月当たり 1,250 円程度とし質問したものの。</p>		
(3)	<p>休日の地域部活動における活動場所の経費について、どのようにお考えですか。選択してください。</p>	<p>1 有料でもいいので充実した環境の施設での活動</p> <p>2 経費がかからない施設での活動</p>	<p>1 18名 (60%)</p> <p>2 12名 (40%)</p>
(4)	<p>休日の地域部活動の活動場所まで、生徒自身での移動が困難である場合の移動手段が仮に保護者の送迎が前提となる場合に対応はできますか。</p>	<p>1 対応可能</p> <p>2 対応不可能</p>	<p>1 28名 (90%)</p> <p>2 3名 (10%)</p>

(2) 葛巻町 (バスケットボール、野球、サッカー、柔道、ソフトテニス)

◆生徒対象アンケート

対象生徒 35 名 うち、回答 18 名 (回答率 51.4%)

※回答率が低いことから、傾向等の分析は困難である状況であるもの。

※回答率が低いことから、未回答者からの回収を行うこととしているもの。

※現時点でのアンケート調査結果 (未回答の部分もあること。)

	質問内容	回答 (選択肢)	回答者数 (割合)
1 休日の地域部活動への参加について			
(1)	活動場所までの主な移動手段は何ですか。	<p>1 公共交通機関</p> <p>2 保護者の送迎</p> <p>3 町のバス等による送迎</p> <p>4 その他</p>	<p>1 0名 (0%)</p> <p>2 14名 (87%)</p> <p>3 2名 (13%)</p> <p>4 0名 (0%)</p>
(2)	上記 (1) の移動手段で、活動場所までの移動に要する時間はどれくらいですか。	<p>1 10分未満</p> <p>2 10分～19分</p> <p>3 20分～29分</p> <p>4 30分以上</p>	<p>1 6名 (40%)</p> <p>2 8名 (53%)</p> <p>3 1名 (7%)</p> <p>4 0名 (0%)</p>

(3)	休日の地域部活動はどんな活動の場であってほしいですか。	1 大会等で良い成績（専門的指導による技術・体力向上）	1 13名（72%）
		2 仲間と楽しく（レクの活動）	2 3名（17%）
		3 いろんな競技を体験	3 1名（5%）
		4 活動自体なくとも良い	4 1名（6%）

### ◆保護者対象アンケート

対象生徒 35 名 うち、回答 17 名（回答率 48.6%）

※回答率が低いことから、傾向等の分析は困難である状況であるもの。

※回答率が低いことから、未回答者からの回収を行うこととしているもの。

※兄弟がいる家庭では一方の生徒の保護者アンケートのみに回答しているもの。

※現時点でのアンケート調査結果（未回答の部分もあること。）

	質問内容	回答（選択肢）	回答者数（割合）
1 休日の地域部活動の実践研究事業に関すること			
(1)	休日の地域部活動の指導者について、教員以外ではだれが望ましいと考えますか。	1 平日の学校部活動における外部指導者 2 地域のスポーツ団体の指導者 3 保護者 4 大学生 5 その他	1 7名（44%） 2 9名（56%） 3 0名（0%） 4 0名（0%） 5 0名（0%）
(2)	休日の地域部活動はどんな活動の場であってほしいですか。	1 大会等で良い成績（専門的指導による技術・体力向上） 2 仲間と楽しく（レクの活動） 3 いろんな競技を体験 4 活動自体なくとも良い	1 13名（76%） 2 3名（18%） 3 1名（6%） 4 0名（0%）
2 学校管理下での部活動（これまでの部活動）の実態等に関すること			
(1)	これまでの学校顧問との部活動や保護者（父母）会練習等の活動において、保護者費用負担のうち高額となっている主なものを選択してください。	1 大会参加費 2 大会、練習試合及び遠征等の移動経費 3 活動に必要な用具、ウェア等購入経費 4 保護者（父母）会費 5 その他	1 0名（0%） 2 4名（25%） 3 8名（50%） 4 3名（19%） 5 1名（6%）（なし）
(2)	これまでの学校顧問との休日の部活動に係る活動場所までの主な移動手段を選択してください。	1 生徒自身での移動（徒歩・自転車） 2 公共交通機関 3 保護者の送迎 4 町のバス等による送迎 5 その他	1 1名（6%） 2 1名（6%） 3 14名（82%） 4 1名（6%） 5 0名（0%）

3 地域部活動に関すること			
(1)	休日の地域部活動について、どのような運営団体がふさわしいと考えますか。中学生の活動の機会を保障し、管理責任も含め、持続可能な活動を運営できる団体として、考えられる団体を選択してください。	1 町スポーツ協会(各スポーツ・競技団体) 2 保護者会(PTA) 3 町教育委員会 4 民間のスポーツクラブ等 5 その他 6 なし	1 14名(82%) 2 0名(0%) 3 1名(6%) 4 1名(6%) 5 0名(0%) 6 1名(6%)
(2)	これまでの学校顧問による休日の部活動と違い、休日の地域部活動については、参加費等の費用負担の発生が考えられますが、参加費徴収に関し、参加する者が経費を負担することをどのようにお考えですか。選択してください。 ※指導者謝金、交通費、傷害保険料の負担を求めた場合の試算を行い、参加費を年間20,000円程度、1月当たり1,670円程度とし質問したものの。	1 費用の発生、参加者負担は理解できる 2 参加者負担は理解するが、新たに費用が発生するのは困る 3 費用の発生は理解するが、参加者負担は理解できない 4 費用の発生、参加者負担ともに理解できない	1 11名(73%) 2 2名(14%) 3 2名(13%) 4 0名(0%)
(3)	休日の地域部活動における活動場所の経費について、どのようにお考えですか。選択してください。	1 有料でもいいので充実した環境の施設での活動 2 経費がかからない施設での活動	1 11名(65%) 2 6名(35%)
(4)	休日の地域部活動の活動場所まで、生徒自身での移動が困難である場合の移動手段が仮に保護者の送迎が前提となる場合に対応はできますか。	1 対応可能 2 対応不可能	1 17名(100%) 2 0名(0%)

## 12 研究の成果等

### (1) 岩手町

#### ① 成果・課題

	研究内容	成果	課題
I 地域団体（町教育委員会）の業務の整理			
1	地域指導者との連絡調整及び謝金等の支払い方法について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の連絡、指導の実績確認等を確認した上での謝金等の支払いを行うことができた。</li> <li>・月ごとに実績確認、支払事務を行うため、毎月の定例業務として整理することができた。（自治体ということもあり会計のノウハウを持ち合わせていた。）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域部活動の実績確認等の効率的な確認方法など検討していく必要がある。</li> <li>・報酬等の支払事務について関係者の負担軽減に努めていく必要がある。</li> </ul>
2	地域指導者の確保について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内3校合同での練習活動としたことで、限られた指導者人材を効果的に活用することができた。</li> <li>・関係団体と連携を図り地域指導者として任用することができた。</li> <li>・休日の地域部活動の指導を希望する教員等について、兼職兼業の許可を与え地域の人材として指導者として確保することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技関係団体との連携を強化していき、持続して指導者を確保できるよう取り組んでいく必要がある。</li> <li>・指導者資格取得に対し、経費補助などの支援を検討していく必要がある。</li> </ul>
3	活動場所の確保について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の専用施設を活用することができた。</li> <li>・学校施設についても、施設開放の許可を受け活用することができた。（旧水堀小学校体育館）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の専用施設を活用できる回数を増やすため、年度当初から計画を作成し場所の確保に取り組んでいく必要がある。</li> <li>・冬季の活動は屋内練習がメインとなるため、町施設のほか、学校体育館等、町内体育施設の活用も検討</li> </ul>

			していく必要がある。
4	実践校との連絡調整について（休日の地域部活動の計画作成や参加生徒に関すること等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校と調整のうえ休日の部活動の計画作成することができた。</li> <li>・休日の地域部活動に参加する生徒の人数も確認等を図り把握することができ、傷害保険への加入の際もスムーズに手続きを行うことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休日の地域部活動の計画について、効率的に計画が作成できるよう、関係者で調整会議等の打ち合わせの場を設けることも検討したい。</li> <li>・不測の事態に備え、教育委員会、学校、地域指導者、参加生徒等の非常時連絡体制をしっかりと作成する必要がある。</li> </ul>
5	平日の部活動と休日の地域部活動の指導に関する調整について（活動方針等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践校の平日の活動方針を確認の上、休日の地域部活動の活動方針を作成することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日の学校部活動と休日の地域部活動では指導者が異なる場合もあることから、各学校、参加生徒等とどのような活動としていきたいか共有を図る必要がある。</li> </ul>
6	関係団体との連携について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種会議等において、様々な情報を共有することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来的な地域の活動を考え、より一層関係団体とは連携をしていく必要がある。</li> </ul>
<b>II 休日の地域部活動の実践について</b>			
1	生徒、保護者、学校等関係者への周知について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に対してQ&amp;A方式で周知を行うことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域移行に関する周知については、説明会を行うなど関係者への理解促進を強化する必要がある。</li> </ul>
2	活動内容について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3校一堂に会する活動により、大人数での練習を行うことができ、単一校ではできないメニューや試合形式の練習ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技力向上を目指す活動、競技を楽しむ活動など慎重に活動内容を検討していく必要がある。</li> </ul>
3	活動場所までの移動手段について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の協力等により町総合運動公園での活動ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎に係る保護者の負担が見込まれる。</li> </ul>

## ② 評価・分析

### ◆ 評価

- ・ 令和3年度は、実践期間が短かったこともあったが、学校、地域指導者、関係団体の協力をいただき、休日の地域部活動の実践を行うことができた。
- ・ 当町において県内での競技人口の大半を抱えるホッケー競技を実践対象としたことで、比較的容易に実践体制を構築することができた。
- ・ 令和3年度の活動として、町内3中学校が一堂に会して行う合同練習活動をメインに休日の地域部活動の実践を行ってきたところであるが、将来的に進行していくと思われる町内中学校の生徒数の減少を考慮した場合、また、本実践活動のホッケー以外の競技への応用の仕方等、まだまだ課題は山積しているが、一定の方向性が確認できたと考えられる。

### ◆ 分析

- ・ 休日の地域移行に向けては、「9（4）休日の地域部活動実践の成果等」で記載のとおり、今後、解消していかなければならない課題が多くあることが判明。
- ・ 実践で判明した課題や休日の地域部活動に参加した生徒や、その保護者を対象に実施したアンケート調査結果を参考とし、地域部活動の導入の可否、また、導入が可能である場合の実施主体となる団体の選定をはじめ、実施競技、導入時期等について、町教育委員会、学校、保護者、町体育協会及び競技団体等の関係機関と連携を図り慎重に検討していく必要がある。

(2) 葛巻町

① 成果・課題

	研究内容	成果	課題
I 地域団体（町教育委員会）の業務の整理			
1	地域指導者との連絡調整及び謝金等の支払い方法について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月業務として、指導実績を確認し、報酬等の支払いを行った。</li> <li>・学校及び各協会からの協力もいただきながら、地域指導者と指導方法等に関する連絡を必要に応じて行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は町スポーツ協会主体の地域部活動を推進していくため、サポート体制を協議していく必要がある。</li> </ul>
2	地域指導者の確保について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各スポーツ協会や学校と連携を図り、地域指導者として4名を任用。</li> <li>・休日の指導を希望する教員等について、兼職兼業を認め、地域指導者として1名任用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各スポーツ協会との連携を強化していき、持続して指導者を確保できるよう取り組んでいく必要がある。</li> </ul>
3	活動場所の確保について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の施設だけでなく、部活動利用時と同様に各中学校体育館などについても、施設開放の許可を受け活用した。</li> </ul>	特になし
4	実践校との連絡調整について（休日の地域部活動の計画作成や参加生徒に関する事等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校及び各スポーツ協会からの協力を基に、地域指導者との連絡調整を適切に行った。</li> <li>・保険への加入手続きについては、学校側で参加生徒を把握し、情報を提供してもらったためスムーズに行えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不測の事態に備え、町教委、学校、地域指導者、保護者との非常時連絡体制をしっかりと作成する必要がある。</li> </ul>
5	平日の部活動と休日の地域部活動の指導に関する調整について（活動方針等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日は「部活動指導員」として、休日は「地域指導者」として、同一人物による指導を基本とし、生徒にとって活動方針等が理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動方針等について、地域指導者、顧問、生徒が共有の認識であるか適宜確認していく必要がある。</li> </ul>

		しやすい体制であるよう整備することを心掛けた。	
6	関係団体との連携について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種会議等において、現状を報告しあい、課題等の把握に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来的な地域の活動を考え、より一層関係団体とは連携を密にする。</li> <li>・会議に参加した代表者のみならず、ほかの団体委員へも情報が共有されているか、確認する必要がある。</li> </ul>
II 休日の地域部活動の実践について			
1	生徒、保護者、学校等関係者への周知について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に対し、県教委作成のQ&amp;A方式で、事業の周知を行った。</li> <li>・教員を対象とした説明会を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議参加者以外の関係者へも、地域移行に関する説明会を行うなど、理解促進を強化する必要がある。</li> </ul>
2	活動内容について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日は部活動指導員、休日は地域指導者として、同一人物を指導者として任用することで、平日休日問わず、同様の活動方針を掲げて活動を行えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技力向上を目指す活動、競技を楽しむ活動など、生徒や保護者の意見を確認し、慎重に活動内容を検討していく必要がある。</li> </ul>
3	活動場所までの移動手段について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町教委による送迎。</li> <li>・保護者から協力いただくことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎に係る保護者の負担が増えると見込まれるため、十分な理解をいただく必要がある。</li> </ul>

## ② 評価・分析

### ◆ 評価

- ・ 専門的な知識を有する指導者による、指導に係る充実と継続性を整備ができた。
- ・ 学校と地域団体（各スポーツ協会）との親密な関係性を築き、生涯スポーツへの円滑な流れを構築した。
- ・ 従来の顧問（学校）が中心とした指導ではなく、顧問と地域人材が協力した指導体制の基盤を整備することができた。
- ・ 県からの再委託の契約締結を受けて実践開始となる事業であり、契約に至るのが当初想定していた時期より遅れたため、実践期間が短かく、実践回数が10回以下であった。

◆ 分析

- ・ 当事業を実践する前から、各スポーツ協会はボランティアによる指導を行っており、今年度のように、地域指導者1名を町会計年度職員として任用する仕組みは、「葛巻町」には適していなかった。
  - ⇒ 令和4年度は各スポーツ協会全体で指導にあたる体制を基本とすることで、国や県の方針に沿いながらも、町に適した体制の構築を目指す。
- ・ 今年度、地域部活動に参加した生徒及び保護者に対して実施したアンケート結果を踏まえ、町に沿った体制基盤を構築するために、今後も町教委、学校、保護者、町スポーツ協会及び競技団体等の関係機関との連携を図り慎重に検討していく必要がある。
- ・ 各校の生徒数減少に伴う、部員数減少に対する解決策のひとつである合同部活動の推進も必要だが、移動手段の確保など、実現に向けた課題は様々あるため、一概に合同部活動を推進するのではなく、競技を通じた生徒一人一人における生涯スポーツへのきっかけの場として整備し、推進することも必要である。

### (3) 岩手県

<b>1 円滑な地域移行の推進に向けた体制の構築</b>
◆ 市町村教育委員会・市町村、学校、保護者（PTA）、市町村体育協会、各スポーツ関係団体等、中学生の部活動を支えている各団体で構成する会議等を設置し、今後の各地域における中学生の部活動の方向性の共通理解を図ること。
◆ どの競技を地域のスポーツ活動として受け入れることが可能か、また、どのような形態での活動（学校単位での活動、地域全体の生徒を受け入れての活動等）となるのか整理しておく必要がある。
◆ 地域のスポーツ活動として運営していくこととなる地域団体について、管理責任も含め決定していく必要がある。
◆ 地域のスポーツ活動として活動する場合の参加者の費用負担の有無を明確にする必要がある。
◆ 地域指導者を確保するため各競技団体と連携を図ること。
◆ 域内の中学校において、地域部活動への移行の検討や教職員への説明等を丁寧にしていく必要がある。
◆ 活動する中学生がどのような活動を望んでいるのか把握する必要がある。（専門的な指導における活動、楽しむ活動、学校部活動とは違う競技を体験、学校部活動と同じ内容、活動自体なくてよい 等）
<b>2 拠点校の取組、関係団体との協働の効果的な促進への支援</b>
◆ 地域団体が行う休日の地域部活動の方針等について拠点校、関係団体、保護者等に説明等を行う際、学校の設置者である市町村教育委員会における指導・助言等の支援。
◆ 市町村教育委員会・市町村、地域団体において地域部活動における役割を明確にし、拠点校の取組のフォローや情報共有等、不測の事態に備えた連絡体制の整備。
◆ 学校から切り離れた活動となるが、活動中の事故等も想定されることから、管理職や平日の顧問教員などへの事故等の状況の連絡等について協力依頼を行う必要がある。（状況の報告であり、学校に対応を求めるものではないこと。）
<b>3 課題等の克服</b>
◆ <b>運営団体の確保</b> 市町村教育委員会・市町村、学校、保護者（PTA）、市町村体育協会、各スポーツ関係団体等、中学生の部活動を支えている各団体で構成する会議等を設置し、地域の実情を踏まえ、「中学生の活動の機会を保障し、管理責任も含め、持続可能な活動を運営できることを前提」とした地域団体を検討していくことが必要

となる。(地域に民間等のスポーツクラブ等がなくても、他地域の民間等の活用も含めた検討。)

◆ **地域指導者の確保**

- ・ 平日の部活動の外部指導者、部活動指導員の活用。
- ・ 各スポーツ関係団体等と連携し、指導者の推薦を依頼。
- ・ 各スポーツ関係団体等と連携し、団体に指導を依頼。(個人ではなく団体への依頼。)
- ・ 休日の指導を希望する教員の把握。(兼職兼業の活用)

◆ **移動手段**

休日の地域部活動は、主に保護者の協力による送迎により活動が成り立っている現状がある。

本県の特徴として、活動場所まで生徒自身の移動が困難である地域等もあることから、保護者への協力依頼と併せて保護者の都合により参加できない生徒がない活動となるよう移動手段の支援等についても検討していくことが必要となる。

◆ **保護者費用負担 (活動に要する経費をすべて保護者に求める場合)**

- ・ 休日の地域部活動はこれまでの学校部活動とは違い、地域指導者に謝金等の経費が発生すること、また、参加するには傷害保険に加入しなければならないことなど、休日の地域部活動を行っていくには経費がかかることを丁寧に説明することが重要であり、その上で、参加者に運営に係る費用負担を求めることについて理解を図る必要がある。
- ・ 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革を前面に出した説明では理解を得ることは困難と考えることから、休日の地域部活動に参加することによるメリット等を整理して説明を行うことの方が理解を得られるのではないかと考える。
- ・ 活動回数、有料施設での活動及び地域指導者の人数等により活動に要する経費が見込まれることとなるが、保護者費用負担については、参加者の人数によって単純に案分した場合、活動する競技によって保護者に求める費用負担の額の多寡が生じることとなり、保護者の理解を得るのは困難となることが想定される。このような状況もあることから、休日の地域部活動を推進していくためには、地域団体に対し、行政側からある程度の財政的支援が必要になるのではと考える。

◆ **自治体費用負担**

休日の地域部活動の運営主体となる地域団体に対する自治体の費用負担は地域移行を円滑に進めていくためには必要と考えるが、自治体の財政状況、事業の優先度等により地域移行に取り組む自治体でも費用負担の可否の差が生じてくることが想定される。国からの財政支援があることが地域移行を円滑に進めるためには有効と考える。

#### 4 他地域への普及

- ◆ 本県においては、令和3年度に実施した、休日の地域部活動の運営主体となる地域団体を「町教育委員会」とした実践研究の成果を基に、**地域団体を「市町村教育委員会」とした場合の「運営マニュアル（仮称）」の作成を予定している**。完成後、県内市町村教育委員会へ配布し地域移行に向けた検討等に役立ててほしいと考えている。
- ◆ 民間のスポーツクラブ等がない地域での地域部活動の成功事例の紹介など**全国各地の実践研究の成果の紹介**。

#### 5 その他（意見等）

- ◆ 本県においては、**地域部活動の受け皿となる民間等の団体が少なく、スポーツ庁が想定している団体（総合型地域スポーツクラブ、民間等）を地域団体とする地域移行は困難**であると感じた。  
管理責任も含め、**持続可能な活動を保障できる団体となると市町村、市町村教育委員会などの組織としてしっかりした団体に限られてくるが、この場合、特徴的な活動ではなく、メンバー、指導者、活動場所も変わらず運営主体のみが変わるような形態になることも想定され、生徒・保護者にとって変化が感じられない活動**となる。  
また、**大会参加**についても、本県においては中体連主催の大会を主な大会として捉えている地域、学校が多いことから、**地域部活動単位での大会参加の見通しが示されない中での実践研究は関係者からの理解を得るのが困難**であった。  
学校（教員）以外に、**団体、人材、場所、財源が少ない地域での地域移行**についてスポーツ庁はどのようなイメージを持っていたのか事例等を示してほしい。  
【参考】  
令和3年度に本県の岩手町でホッケー競技に限定し休日の地域部活動の実践研究を行い、地域の指導者、専用のホッケー場を活用した活動を実施し、成果・課題等について整理することができたが、当町はホッケー競技を町技としており、体制の整備等については、環境が整いやすかった事例である。岩手町でも他の競技を地域移行として考えた場合、課題等が山積している状況である。
- ◆ 学校から切り離した活動とするのであれば、「**地域部活動**」のように「**部活動**」という言葉があるとなかなか理解させることは困難。地域スポーツ（クラブ）活動など、**名称についても工夫していく必要がある**。
- ◆ 地域指導者は普段別に仕事を持っている方が多い。休日の地域部活動を地域指導者にまかせ、**教員の負担軽減を図ることは重要であるが、地域指導者に負担が移っているだけとなることから、地域指導者の複数確保等工夫していく必要がある**。

- ◆ これまでの長きに渡っての学校の部活動のイメージが保護者等に定着しており、学校顧問による部活動には経費がかからないものと認識している。このため、地域部活動への移行について、わざわざ、新たな経費を負担して、学校の部活動とあまり変わらない活動を行うことに理解を示さない方も多数でてくることが想定される。

特に民間のスポーツクラブ等がない地域においては、休日の地域部活動については、メンバー、指導者、活動場所、活動内容も変わらず、運営団体が変わっただけという事例もでてくると思われ、その場合に発生する費用について保護者に理解を求めることは、教師の負担軽減を理由とする場合は困難と思われる。